

## ウズベキスタン 企業訪問調査レポート【4】

## AGROMIR group of companies ～食品加工業～

## ■ ウズベキスタン共和国 — 基礎データ —

- 面積: 448,900平方キロメートル [日本の約1.2倍]
- 人口: 3,049万人 (2014年初 国家統計委員会)
- 首都: タシケント / 人口約234万人 (2013年初時点)
- 名目GDP総額: 567億9,600万ドル (2013年)
- 1人当たりGDP(名目): 1,878ドル (2013年)
- 実質GDP成長率: 8.0% (2013年)
- 為替レート: 1ドル ≒ 2,094.99 ウズベキスタン スム (2013年平均値)

出所: JETROホームページ 国・地域別情報(J-FILE)「ウズベキスタン概況(2015年1月更新)」



## ■ 調査日 : 2015年 2月

## ■ 分野 : 食品加工業

## ■ 沿革 : [1928年]旧ソビエト連邦(以下、ソ連)時代の国家農産物管理機構“Uzplodogostorg”により、野菜や果物の洗浄・皮剥きなどの加工工場としてサマルカンド州に設立。

[1943年]第二次大戦中、旧ソ連のグロズヌイ市(現チェチェン共和国首都)にあった同種の加工工場“Gazalkent Meva”が戦火を避けるためタシケントに疎開し、同グループに加わる。

[1961年]サマルカンド州にワイン等の原料を供給する加工工場を設立するなど、国内各地に工場を広げつつ、ソ連の農産物加工基地として発展。

## ■ 特徴 : AGROMIRグループは原料買い付けから加工、販売までの一環体制を整えており、最新技術導入による工程の改善や品質向上、新製品の開発や流通網の整備に努めることにより、ウズベキスタンの食品市場においてブランドを確立し競争力を維持している。

## 企業概要

- 社名 : AGROMIR group of companies
- 住所 : Amir Timur street 60, Tashkent city, Republic of Uzbekistan
- URL : <http://agromir.uz/>
- 設立年 : 1928年
- 傘下企業・支店数等 : 工場、販売会社などの傘下企業14社(後述参照)を含む全国に16カ所。
- 従業員数 : [グループ本部]100人 [工場・直営販売所]1,000人
- 主要製品 : 果汁100%ジュース、濃縮果汁飲料、野菜・果実缶詰、ワインおよび関連酒類原料(完成品は製造していない)など。
- 流通先 : ウズベキスタン全土、およびトルクメニスタン、カザフスタン、キルギス、ロシア、アフガニスタン、米国などに輸出。
- 市場シェア : ジュース類の市場に42%のシェアを有するなど、ウズベキスタンにおける農産物加工の主要企業である。
- 社是 : 高品質で健康に良い製品をリーズナブルな価格で提供し、人々の生活向上に寄与する。



## ビジネスの概要 ①

### グループ傘下企業

<b>社名:</b>	<b>AGROMIR CHUST</b>
<b>所在地:</b>	72, Olmos street, Chust City, Namangan region
<b>概要:</b>	2002年にChust Golden Fruit社を設立、チュスト市(ナマンガ州)の農産物買い付け場を買収し、2007年に米国資本を受け入れて、AGROMIR CHUST社に改編しグループ傘下企業とした。 肥沃で質のよい果実が採れるフェルガナ盆地に農地および灌漑取水設備、ジュース・ペーストなどの農産物加工・貯蔵場、品質検査場などを有し、果樹栽培と果実加工を行っている。 加工機械は欧州復興開発銀行からの融資を受け、主にイタリアのAlberto Bertuzzi製、ドイツBucher社製を購入しており、両社から従業員訓練の協力を得ている。 灌漑用水は社の敷地にある井戸から120mの地下水を汲み上げ散水している。

<b>社名:</b>	<b>AGROMIR ADAS</b>
<b>所在地:</b>	Shopulot village, Taylak district, Samarkand region
<b>概要:</b>	サマルカンド州のホヴレンコ・ワイナリーに原料を供給するブドウ加工場として1961年から建設が始まり、1976年に施設が完成。その後米国資本を受け入れるなどして現在に至っている。 搾汁・混合・濾過設備、自動計測設備、無菌貯蔵庫を含む倉庫、井戸水揚水・供給施設、消防設備および検査設備等を備え、国内基準に適合したワイン原料を生産している。

<b>社名:</b>	<b>AGROMIR BUKHARA</b>
<b>所在地:</b>	Taligandum area, "Rabot Kalmok" village, Bukhara region, Bukhara district
<b>概要:</b>	Fruit World社の設備を近代化し2003年に設立、トマト・ペーストと果実ピューレ(ソース)を生産している。4.8haの敷地を有し、検査設備と除石機、粉碎機・濃縮機等加工機、発酵槽、貯蔵室、瓶充填機、地表水と井戸水揚水・供給設備等を備えている。 機械はAGROMIR CHUST社と同じく主にイタリアのAlberto Bertuzzi製で、濃縮ジュース加工機はドイツのBucher製。ともにアジア開発銀行の融資を受けて設置したものであり、両社から従業員訓練の協力を得ている。

<b>社名:</b>	<b>AGROMIR ZARKENT</b>
<b>所在地:</b>	Zarkent village, Parkent district, Tashkent region
<b>概要:</b>	年間7,000tを越えるブドウを生産し、ワインやスパークリングワイン原料として国内販売および輸出を行っている。 2006年の大統領令により、周辺の園芸やブドウ園の農家がZarkent Shyrkatブドウ園を中心としてZARKENT AGRO INVESTに纏められ、同年AGROMIR ZARKENT社に改編された。 0.87haの敷地を持ち、ウズベキスタン・韓国開発銀行の融資を受けてイタリアDELLATOFFOLLA社の設備を導入している。品質管理のため生産工程をコンピュータ管理すると共に品質試験設備を備えて、国際基準をクリアしている。

## ビジネスの概要 ②

## その他のグループ傘下企業

- AGROMIR KITAB: 農産物栽培・加工
- GAZALKENT MEVA: 農産物栽培・加工
- KAUFMAN INVEST: 農産物栽培・加工
- ADONIS INVEST: 農産物栽培・加工、濃縮ジュース等生産
- AGROMIR JUICE: 農産物栽培・加工、濃縮ジュース等生産
- AGROMIR KONSERVA: 缶詰製造
- AGROMIR MEVA: 農産物栽培・加工、濃縮ジュース等生産
- AGROMIR LOGISTICS: 運輸・配送
- WOOD GOLD FOODS: 濃縮ジュース等農産物加工
- GREENUP TRADING: 販売・販促活動



イメージ

## AGROMIRグループの主なブランドと品揃え

価格は、ジュースおよびネクター類が5,000～6,000スム、缶詰類が5,000～10,000スム。低所得層から高所得層まで、幅広い消費者を対象としている。



## ■ Bliss™

28種の天然ジュース(リンゴ、サクランボ、イチゴ、レモン、パイナップル、トマト、アプリコット、ニンジン、ザクロ、モモ、ブラックベリーその他ベリー類のジュース、果肉入りネクター、ミックス・ネクター等)



## ■ MEVA juice™

ジュース、ネクター類。



## ■ Marinelle™ (輸出向けのみ)

- キュウリ、トマトなど各種野菜のピクルスおよびマリネ  
主に720mlガラス瓶入りで、賞味期限は25℃以下で2年間。  
中央アジアの各種伝統料理の原料などに使用する。
- なすスナック、ペースト  
賞味期限は24℃以下で2年間。
- トマト・ペースト  
100%自然素材で無添加。ガラスびん詰430ml・720ml・1000mlの3種類。賞味期限は25℃以下で3年間。
- ジャム  
サクランボ、イチゴ、アプリコット、ナッツ類のジャム。主に430ml入りで、賞味期限は25℃以下で2年間。

# Marinelle®



## ■ 果実のピューレ、濃縮加工品

アプリコット、リンゴ、モモ、ラズベリー、トマト、ザクロ、サクランボ。各国への輸出が順調。

## ■ ワイン原料

赤・白ワイン、スパークリングワインなど酒類の原料。



イメージ

## ビジネスの概要 ③

### 事業管理：品質管理

検査、計量の精密機器と専門スタッフを備えた検査・研究所を設けており、原料受け入れ時から加工工程、完成品、貯蔵期間中と、全てのプロセスにおける品質検査や、微生物検査などの化学的検査などを行っている。(ISO9001:2008を取得)また、ウズベキスタンの国産農産物は元々、品質が良いことで知られている。

### ■ ジュース製品の製造から出荷まで



### 事業管理：財務管理

専用ソフトを開発し、財務経理をコンピュータ管理しており、取引状況を常時モニターすることなどによって経営判断の迅速化を図っている。

同グループの金融界における信用は高く、新事業を実施する際は円滑に融資を受けている。

### 製品の流通

全国の特約販売店をはじめ大手スーパーや大小の小売店に卸しているほか、レストランやカフェ、料理仕出し業者などにも納品している。製品の卸先については、下記の5分類に分けて管理している。

#### 〔卸先(顧客)分類〕

Aレベル:	Korzinka、Makro等の大手スーパー・マーケット
Bレベル:	中堅スーパー・マーケット
Cレベル:	一般の商店
Dレベル:	小規模商店
Eレベル:	露天商、農村部の商店など

販売促進

納品先へ商品を配送する運送車両の車体に広告をプリントし、全ての特約販売店には、ポスターやチラシなどの広告物とAGROMIRのロゴが貼られた商品陳列用のガラス冷蔵ケースが支給される。  
 なお、特約販売の各店舗での売れ行きは毎日グループ本部に報告される。

消費者向け販促活動

- Facebookでの情報発信と共に、ジュース・ネクター・ジャム等の自社製品やカメラ、タイ旅行などの懸賞が当たるキャンペーンを実施。
- スーパーでの新製品のジュースやネクター、ジャムの試食・試飲会およびサンプルの無料提供。
- AGROMIR傘下企業見学の実施。



ジュースブランド「Bliss」の Facebook



タイ旅行の当選者



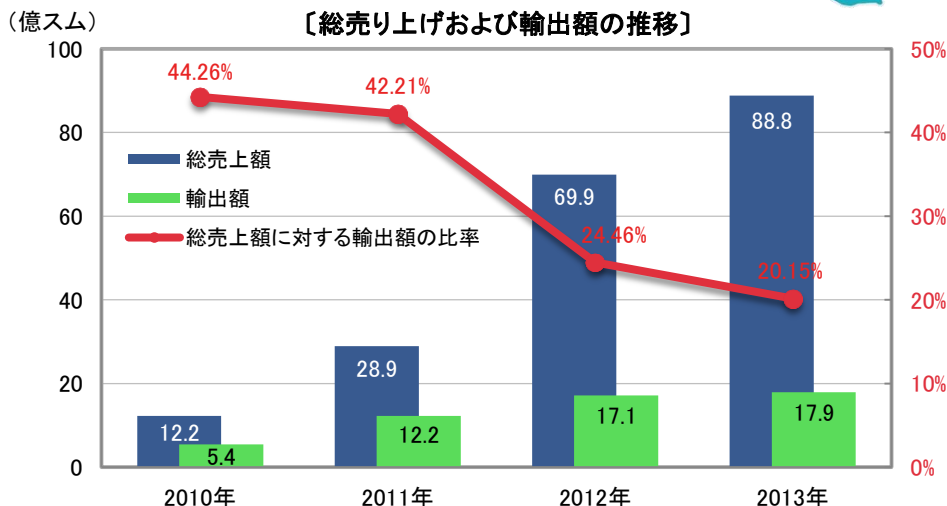
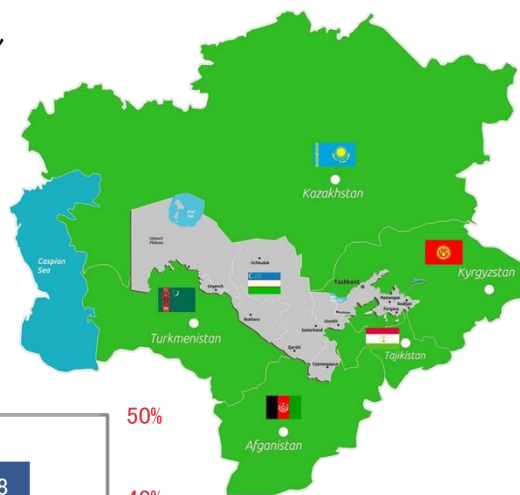
(左)Blissと(右)MEVA juiceの試飲会の様子

輸出先

- ロシア ● カザフスタン ● トルクメニスタン ● タジキスタン
- キルギス ● アフガニスタン ● EU諸国 ● 米国

ロシアでは“AGROMIR”に加え、“EKO”、“Vilanta”、“Tsarskiy pogrebok”、“Kazachyi raznosoli”、カザフスタンでは“Bravo”といった商標を付して販売されている。

輸出額は、下記グラフに見るとおり2010年に全売り上げの44%を占め、その後国内売り上げが急速に伸びたことから全体に占める割合は低下しているが、2013年でも20%と大きい。



イメージ

## ビジネスの概要 ⑤

### 外国の提携企業

ロシア：ZAO KSHVK、ZAO Detchenskiy zavod、LLC Interagrosistemy

カザフスタン：Supermarkets network “METRO”、Supermarkets network “Magnum”、JSC “RG-Brands”、LLP “RIKS”、LLP “Prima distribution”、LLP “Gold product”、LLP “Bahus”、LLP “Jetusy”、LLP “Rauan”、LLP “Alkom plus”

### 競合他社

同業メーカー等は存在するが、ブランド力や品揃えなどにおいて、それほど脅威と捉えていない。

### 日本企業へ期待すること

日本の技術に関心を持っており、リーズナブルな価格で商品が提供できる一般消費加工食品の加工機械、パッケージ材料、添加物などに関する提案を期待している。

## 編集後記

### 市場におけるAGROMIRの位置・評価

低所得層から高所得層まで幅広いニーズに応え、消費者をはじめスーパー等卸先業者の評価を得ており、国内加工食品市場に地位を確立している。

一方、各地で従業員の地元雇用、原料の現地調達、現地生産完結という点が評価されて政府の支援も得ている。

また、海外市場も研究し、有機栽培農産物を使用した自然商品にターゲットを向けるなどして、米国やEU諸国への輸出も順調に伸びており、今後新事業に着手する資金的余裕もある。



イメージ

### 課題

AGROMIRの製品は周辺国においても品質が認知されており、正規の製品に対しては競争力を維持しているが、低品質の偽物商品が低価格で市場に流通している。

### 今後の計画

長年の実績とウズベキスタン産農産物の品質の良さから、市場での成長の可能性は大きいと見ており、また、輸出が順調であることから、さらなる事業の拡大を計画している。



イメージ



# JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるかぎり正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。